

力を合わせて活性化を

ふれあいロード北池商店会会長、北池コインシール会長の竜巳屋酒店店主、水澤啓二さんをお訪ねしました。この商店会は、東武東上線北池袋の路切から西側の、池袋第二小学校までの左右に並ぶ池袋本町の商店街の1つです。住所の丁目と町会は、駅を背にして左が一丁目で一丁目町会、右側が四丁目で四丁目町会になります。会員店舗数は52店舗で、10年前に組織されました。またその商店会のなかに「北池コインシール会」があり、これは100円の買い物ごとにシール1枚をお客さんに差し上げ、70枚分で100円相当の商品に換えられるというシステムで、25店舗が加盟しています。水澤さんは、この会の会長も兼任されています。

昨年11月に出店した「まちを壊す」と言われているドンキホーテによる影響については、一時的には影響があったが、どうやら「お客さんが飽きてきた」のではないかという評価でした。しかし、深刻な不況の嵐の影響での売上げの停滞に対して、何とか対策を講じなければと話されました。3月23日の「池袋本町商人まつり」開催をきっかけに集まった、池袋本町の4つの商店会が力

を合わせていくことが大事で、これはその第一歩だと強調されます。個々の店舗の工夫や努力はもちろん必要だが、特にこういう時代は、1店舗、1商店会の単独の努力だけでは生きぬけないとおっしゃいます。これぞまさに「まちづくり」！

北池袋の駅を利用する人口が減少しているわけではないので、お客さんが足を向けたくなるよう努力が必要で、そのための魅力づくりをしたいと意欲的ですが、一方、路上へのゴミのポイ捨てや、長期にわたる放置自転車に、商店会としても対策に頭を抱えていて、商店会もゴミの問題が悩みのようです。

水澤さんは、長野県善光寺近くのご出身で、1957年(昭和32年)に5年間のサラリーマン生活から現在の酒類販売業に就かれました。趣味は野球をはじめとするスポーツ全般。(取材：内藤、青山)



サバイバル・ワンポイント講座 その11

命を救う①

今回から数回にわたり、池袋消防署のご協力をいただきながら、新しい救急救命法をご紹介します。不慮の事故は家庭内でも多く発生しています。家庭内の事故防止は、普段の生活の中で実現できる部分がたくさんあります。あなたの家庭の安全をチェックしてみましょう。

もし救急車を呼ぶような事態になったら、「あわてず、落ちついて」119番に通報してください。係員は次のように聞いてきます。正確にお答えいただくことが大切です。

消防庁(119番)	通報者
火事ですか、救急ですか。	救急です。
そこは何区、何町、何丁目、何番ですか。	通報している住所を言います。
どうしましたか。	簡潔に、事故の状況や見たままの傷病者の状態を説明します。
はい分かりました。救急車向かいます。	救急車が着くまで、周囲の人と協力して応急手当を行います。



東京消防庁パンフレットより転載

池袋本町 ニュース
防災まちづくり

Ikibashi Honcho
Bosai-Machi-zukuri
News
no. 29

2003年4月25日発行

発行：池袋本町防災まちづくりの会
豊島区住環境整備課
問い合わせ先：住環境整備課
TEL 03-3981-0489
編集協力：(株)防災&まちづくり計画室

5月といえば防災まちづくり祭



今年で7回目を迎え、すっかり年中行事となってきた池袋本町防災まちづくり祭。今年も本町防災ひろばを会場に行われます。少しずつ新しい企画も増えています。どうぞご参加ください。

募集します！鯉のぼり

昨年、沢山の方々のご協力でひろばに鯉のぼりが泳ぎました。今年はもっと沢山の鯉がひろばの空を泳ぐようにしたいと思います。

ご家庭で眠ったままになっている鯉のぼりがありましたらご寄付をお願いします。なお、鯉のぼりは会で保管しますが、お返しすることはできませんのでご了承ください。

●受付(電話をくだされば取りに伺います)

豊島区都市整備部住環境整備課
電話 03-3981-0489

消火器の点検と体験

ご家庭で古くなった消火器はありませんか。専門業者が区のあっせん価格で中身の交換をいたします。噴霧訓練もできます。まちづくり祭当日に消火器をお持ちください。

●交換費用……3,600円～10,900円

第7回 池袋本町防災まちづくり祭

日時：5月18日(日)
10時～13時
場所：本町防災ひろば

(天候によってめかるむ場合は、池袋本町公園になることもあります)

主催：池袋本町防災まちづくりの会・本町防災ひろばの会
事務局：豊島区都市整備部住環境整備課

- ①「見る」展示コーナー
 - ・子どもポスターコンクール「安心なまち」
- ②「体験する」訓練コーナー
 - ・煙から逃げる(煙体験)
 - ・けが人を助ける(救急救命訓練)……新心肺蘇生法
 - ・火事を消す(ポンプ放水訓練・初期消火訓練)
 - ・燃えにくい衣類とは(火災実験)
 - ・見て知る消防(住宅用防火器具、消防車両、写真)
- ③「まわる」防災スタンプラリー
 - ・5つのポイントを回った方に参加賞(花鉢)
- ④「食べる」模擬店コーナー
 - ・今年は商店会にお願いする予定です。
- ⑤「生きのびる」サバイバル遊びコーナー
 - ・テント村づくり(5月17日午後から小屋づくり)
- ⑥「聴く」演奏コーナー
 - ・末広太鼓

つれづれに一言
先日、朝日新聞「声」欄の9歳の小学生の投稿文が目にとまりました。要旨は「学校で食べてはいけなないお菓子などのごみが、校庭に捨てられていて、それを生徒がかたづけている。公園にも食べたとの袋が捨てられている。食べたらゴミ箱に捨てているか、持ち帰ればすむこと……みんながそうすれば、もっときれいな日本になる。協力してほしい」というものでした。9歳の子どものから素直なメッセージです。
富士山が世界遺産に選ばれなかった理由はゴミ問題です。廃棄と掃除のいたちごっこ。捨つても、ひろってもつぎつぎに投げ捨てられる「ひろば」のゴミ。ポイ捨てと、持ち込み廃棄……。この子どもの働きかけを私たちが大人がどう受け止めるかは、日本の将来の明暗がかかっていのように思うものでもありました。(青山静可)